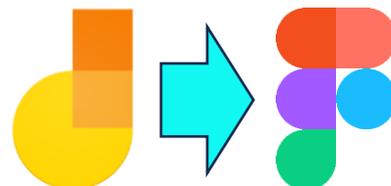


## Jamboard から FigJam へ

これまで、Google Jamboard（以下「Jamboard」という。）を授業の中で児童生徒が協働的な学びを進める際に、多く活用してきたことと思います。そのJamboard が令和6年度10月1日以降は表示専用となり、さらに、12月31日以降は完全に利用することができなくなります。これまで、当班にも、「Jamboard が使えなくなったら何をすればいいの?」という声が、度々届いていました。宮城県教育委員会では、この Jamboard の代替サービスとして、Figma 社の FigJam（以下「FigJam」という。）を利用することとしました。



宮城県教育委員会の Google アカウント (gs.myswan.ed.jp)（以下「宮城県 GS アカウント」という。）では、令和6年9月25日から FigJam が利用可能となっています。詳しくは、令和6年9月19日付け宮城県教育庁教育企画室の県立学校及び市町村教育委員会宛通知をご覧ください。

## FigJam の特徴

FigJam とは、Jamboard に代わるデジタルホワイトボードとして紹介されているアプリケーションで、Jamboard より豊富かつ高度な機能を備えています。FigJam では、以下のようなことができます。

- ・ホワイトボードを共有して、共同作業ができます。
- ・描画機能を使って、図形や文字を書いたり、写真を貼り付けたりすることができます。
- ・付箋機能を使って、ボード内に自由に意見を貼り付けることができます。
- ・ブレインストーミングやマインドマップ、フローチャートなどが簡単に作成できます。

詳しい利用方法については、宮城県教育委員会が作成した次の研修動画をご覧ください。



<https://youtube.com/live/wy3es-s4yHI>

今回の宮城県 GS アカウントでの FigJam への移行方法について解説しています。



<https://youtube.com/live/FCfE0pSDhrE>

今回の移行に併せて FigJam の基本操作について解説しています。



<https://youtu.be/IpkKuoXR4yI>

昨年度の M ナビ TV での FigJam の解説動画です。

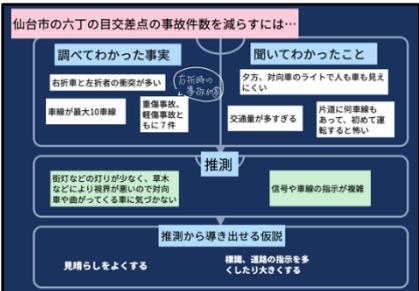


<https://sites.google.com/gs.myswan.ed.jp/gwondemand/home>

※宮城県 GS アカウントでログイン後に視聴できます。

# 実践事例紹介 みやプロGo!を使った授業実践 小澤 裕佳子 先生

総合教育センターの令和5年度長期研修成果物『プログラミング教育パッケージ「みやプロ Go!」』を使った授業実践例を紹介します。

学校名	宮城県仙台南高等学校	教科、領域	総合的な探究の時間										
概要	<p>・主な学習活動 ★活動の留意点 ○生徒の様子</p> <p>単元名：地域課題研究(本時 4/21)</p> <p>本校1学年の総合的な探究の時間では、仙台市太白区や長町周辺の地域団体と連携し、地域課題の解決を目指して探究活動を行なっています。通年の活動を通して、課題を見つけたり、その解決のための手立てを考えたりする際に、「みやプロ Go!」のプログラミング的思考の考え方を参考にしています。本時は活動の様子です。</p> <p>【導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みやプロ Go!」のプログラミング的思考の図(写真1)から、各思考を思い出す。</li> <li>・課題を見つけたり、その解決のための手立てを考えたりする際に、プログラミング的思考は有効であることを理解する。</li> </ul> <p>★前時の活動とのつながりを持たせる。前時は、「自分が住みたい理想の街の特徴」等の話題について、プログラミング的思考を使って話し合いを行った。相手を説得することを目標に、理由を「分解」したり、「抽象化」したりして、賛否を話し合った。</p> <p>○本校では、進路・総探系の生徒が中心となって毎時間の活動を進めている。系の生徒達は、補足情報を黒板に板書したり、適宜グループワーク等を取り入れたり、クラス全体に問いかけたりして、活発に話し合いを進行していた。系の生徒の指示を受けて、他の生徒達も積極的に活動に参加していた(写真2)。</p> <table border="1" data-bbox="427 1070 900 1285"> <tr> <td>分解</td> <td>物事を要素に分ける</td> </tr> <tr> <td>組合せ</td> <td>要素の組合せを作る</td> </tr> <tr> <td>抽象化</td> <td>全体的な特徴や要点を抜き出す</td> </tr> <tr> <td>一般化</td> <td>複数の物事の関係や規則をまとめる</td> </tr> <tr> <td>評価・改善</td> <td>要素や手順を振り返り、改善する</td> </tr> </table>  <p>【写真1】 プログラミング的思考の図</p> <p>【写真2】 活動の様子</p> <p>【展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートのシンキングツールを使って、身近な地域の課題に対して、仮説を立てる。</li> <li>★仮説を立てる際に、前時に使用したプログラミング的思考を思い出すよう伝える。</li> <li>○仮定・結果・理由の要素を分解して「組み合わせ」たり、事実と推測を「分解」して考えたり(写真3)することで、説得力のある仮説が上がった。</li> </ul>  <p>【写真3】 生徒が作成したスライド</p>			分解	物事を要素に分ける	組合せ	要素の組合せを作る	抽象化	全体的な特徴や要点を抜き出す	一般化	複数の物事の関係や規則をまとめる	評価・改善	要素や手順を振り返り、改善する
分解	物事を要素に分ける												
組合せ	要素の組合せを作る												
抽象化	全体的な特徴や要点を抜き出す												
一般化	複数の物事の関係や規則をまとめる												
評価・改善	要素や手順を振り返り、改善する												
使用機材 ソフトウェア	生徒使用端末：iPad 使用したアプリケーション等：ロイロノート(シンキングツール)												
先生方へ	本時の学習では、より論理的で効率のよい解決策を考えさせる際の視点として、プログラミング的思考を活用しました。「みやプロ Go!」では、各教科の中でプログラミング的思考を育むことのできる学習活動例を多数掲載しています。ぜひご活用ください。												

## 編集後記

今号は、FigJam を紹介しました。今まで使ってきた Jamboard よりも多くの機能が搭載されています。活用次第で、これまでよりも多様な学習活動を展開することができると思います。ぜひ、同僚の先生方と活用方法について話してみてください。

【第31号担当:情報教育班 氏家】